

## 平成20年度事業報告

### 1、概要

展示ではビジュアル化とカラフル化をさらに徹底し、八一の書作品の理解を助ける工夫に加え、生け花とのコラボレーションも再び実施した。文芸講演会では新規事業として館長講座を8回、イベントでは「健康と教養を養う文学散歩 - 會津八一の散歩道」を2回それぞれ実施した。他のイベントも前年度並みに展開した。

しかし入館者は年度当初から急減、その後も回復せず、年間入館者総数は7,111人、前年度比19.9%減(前年度は8,875人)。指定管理者として市に提出した19年度目標7,900人を約10%下回った。急減の理由は後期高齢者医療制度導入やガソリン価格急騰が熟年層の入館者比率が高い当館には大きく響いたものと推測している。

館長講座も含めた文芸講演会は11回開催、聴講者数は1,211人だった。イベントでは「會津八一の歌を映す」第2回秋艸道人賞写真コンテストを実施し、冬の収蔵品展で入賞・入選作品を展示し、歌と写真のコラボレーションを図った。同イベントには引き続き共催5、協賛3、協力5の13団体から金銭や物品の支援を受けた。

### 2、事業の内容

(ア) 展覧会事業 常設展 (経費 1,332,780 円)=前年度 1,504,057 円比 11.4%減

特別展 (経費 5,234,974 円)=前年度 5,562,761 円比 5.9%減

	19年度 入館者数	19年度 開催日数	20年度 入館者数	20年度 開催日数	20年度 累計人数
4月	874	21	508	22	508
5月	1144	27	614	28	1122
6月	847	22	943	25	2065
7月	1236	26	946	17	3011
8月	601	27	944	27	3955
9月	1078	23	884	20	4839
10月	1041	26	598	27	5437
11月	1014	16	552	26	5989
12月	125	17	229	12	6218
1月	151	24	280	23	6498
2月	372	25	232	23	6730
3月	392	19	381	25	7111
合計	8875	273	7111	275	

20年度観覧料収入 2,346,480 円 (前年度 3,269,620 円比 28.2%減)

(特別展)

「會津八一が見たラストエンペラーの至宝 京都・藤井有鄰館との出会い」

(平成20年7月12日～9月23日 開催日数64日)

八一の東洋美術学者としての側面を紹介した。昭和17年に早稲田大学の学生を引率して見学したのが京都の藤井有鄰館。そこにある中国美術の名品のうち、古代文字の刻まれた甲骨(殷)、鼎や文鐘(西周)、始皇帝が進めた度量衡の基準器「銅權」「陶量」(秦)、瓦や明器(漢)、清朝・乾隆帝の龍袍(普段着)はじめ堆朱の筆、蘭亭硯などを借用し、八一の漢詩書作品を並列して展示した。書道関係者には好評だったが、一般には漢字作品は難しすぎたきらいがあった。

入館者数2,774人。前年度(「高村光太郎」=2,637人、開催日数49日)と比べ、開催日数が長い割には伸びなかった。

(常設展)

企画展「秋艸道人花鳥風月をうたう」(同4月5日～6月29日 開催日数75日)

八一の歌には花鳥風月を詠った秀歌もある。本展では、自詠歌をはじめ漢詩の書作品、歌原稿などを展示。昨年度に好評だった生け花と歌書のコラボレーションを再び実施。新潟市在住7流派が、歌ごとに生け花を展示した。昨年よりも歌のイメージを豊かに表現した生け花作品が多く、八一書との調和もとれていた。だが、2年連続の企画だったうえ、予算縮小に伴い規模縮小(平日は生け花展示なし)もあり、盛り上がりには欠けた。

入館者総数2,065人(前年度「秋艸道人 草花の世界」2,836人)。

企画展「八朔郎 俳句の世界」(同10月1日～12月14日 開催日数65日間)

八一は正岡子規に啓発され句作と俳論に活躍。弱冠20歳で地元新聞の選者を務めるなど新潟俳壇の指導者となった。本展では有恒学舎教員時代に発見した「一茶六番日記」をはじめ、新聞に投稿した俳句や俳論記事、その後の俳句墨蹟などを展示した。初めて見る作品があり良かったとの感想が寄せられた一方、短歌ファンには歌書の展示が少ないためか、来館者数が伸び悩んだ。「八朔郎～」が八一と別人の展示と誤解を与えたケースもあった。入館者総数1,379人(前年度「會津八一と斑鳩」2,362人)

収蔵品展「初めての會津八一」(平成21年1月6日～3月29日 開催日数71日)

書画集に掲載された自信作をはじめ、板に彫られた漢詩などを紹介。奈良を詠んだ歌書や拓本など記念館所蔵の名品を展示した。晩年の新潟生活を偲ぶ愛用の眼鏡、旅行かばん、ステッキなどに遺品も並べた。

第2回写真コンテストの入賞、入選作品を同時展示した。しかし、まだ写真コンテストの応募者が少ないためか、入館者増につながらなかった。

入館者総数893人。(前年度「悠久の五十首」1,040人)

(主な来館者)

- ・筑波大学 加藤沢男教授(元五輪体操選手)、金子明友名誉教授(同)(4月6日)
- ・県展審査員(書道)西村昭一氏(5月21日)
- ・日展理事 寺坂公雄氏(7月27日)
- ・大東文化大学 高木弘一教授(8月6日)
- ・東京藝術大学 宮田亮平学長夫妻(8月14日)
- ・日本経済新聞大阪本社事業部 伊藤シニア・ディレクター、田村部次長(9月13日)
- ・書体デザイナー 小林章氏(10月21日)
- ・ジャーナリスト・テレビコメンテーター 轡田隆史氏(11月1日)
- ・観光庁長官本保芳明氏、北陸信越運輸局長後藤靖子氏(平成21年1月10日)

(展示等に対する評価) = 入館者アンケート結果(+ = 好評、- = 不評) = 回答数 1091人

		作品解説の評価		展示量への評価		全体的評価	
a	花鳥風月を詠う	+ 84%	- 13%	+ 77%	- 19%	+ 89%	普通 8%
b	ラストエンペラーの至宝	+ 83%	- 15%	+ 76%	- 20%	+ 91%	普通 8%
c	八朔郎 俳句の世界	+ 88%	- 10%	+ 84%	- 14%	+ 95%	普通 4%
d	はじめての會津八一	+ 82%	- 15%	+ 67%	- 30%	+ 92%	普通 8%

(イ) 講演会事業

特別展関連第1回文芸講演会(無料)

テーマ 「中国美術の見どころ」

講師 藤井善三郎・藤井有鄰館館長

日時 8月1日

会場 新潟国際情報大新潟キャンパスホール

入場者 160人

特別展関連第2回文芸講演会(無料)

テーマ 「日本人と儒教」

講師 加地伸行・大阪大学名誉教授

日時 8月30日

会場 新潟国際情報大新潟キャンパスホール

入場者 120人

画展「八朔郎 俳句の世界」関連 文芸講演会(無料)

テーマ 「會津八一 俳句からの出発」

講 師 俳人黒田杏子氏  
日 時 10月4日  
会 場 りゅーとぴあ能楽堂  
入場者 196人

神林館長連続講座（新規実施、有料）

- \*前期：「アートを楽しむ」4回 会場はいずれも「だいしホール」
- |        |                |         |
|--------|----------------|---------|
| 6月13日  | 「実録フランダースの犬」   | 受講者106人 |
| 7月11日  | 「ダ・ヴィンチ・コードの謎」 | 120人    |
| 9月12日  | 「ゴッホと日本」       | 108人    |
| 10月17日 | 「分からない絵が分かる」   | 100人    |
- \*後期：「近世日本画人伝」4回 会場はいずれも「クロスパルにいがた」
- |            |                  |         |
|------------|------------------|---------|
| 11月2日      | 「日本のアカデミズム 狩野永徳」 | 受講者 59人 |
| 1月17日（21年） | 「琳派とは何か 尾形光琳」    | 89人     |
| 2月14日      | 「文人画の味わい 池大雅」    | 75人     |
| 3月 7日      | 「浮世絵の国際化 葛飾北斎」   | 78人     |

（ウ）イベント

「會津八一の歌を映す」第2回秋艸道人賞写真コンテスト

（総事業費2,289,106円）

- ・公募期間 4月から12月14日（作品搬入12月1日～12月14日）
- ・応募点数 57点
- ・応募範囲 県内29点、県外28点（首都圏と関西中心、沖縄も1点）
- ・審査委員 浅井慎平（委員長）、大橋一章、小川光三、和泉久子、神林恒道の5氏
- ・審査会 12月24日14時～17時 ホテルオークラ（大橋委員欠席）
- ・審査結果 秋艸道人賞に新潟市の中原一磨さん。  
奨励賞5人は県内3、大阪府1、福島県1  
入選は18点16人。  
うち県内10、東京3、埼玉2、神奈川、奈良、京都各1点
- ・記者発表 12月25日午前10時30分～  
新潟県政記者クラブ 浅井委員長、神林館長、武藤事務長
- ・授賞式・作品講評会＝審査委員と受賞者の対話方式（入場無料）  
21年1月31日（土）午後2時～3時30分  
クロスパルにいがた映像ホール 参加数101人
- ・祝賀会（参加者負担）21年1月31日午後4時～6時  
ホテルオークラ 参加数 50人

健康と教養を養う文学散歩「會津八一の散歩道」(参加者負担1人500円)

= 協力企業などから中心街活性化策を要請され、普及も兼ねた新規事業 =

- ・共催団体 中央区、新潟日報社、北方文化博物館分館
- ・コース 護国神社 會津記念館 北方文化分館 西堀3 (瑞光寺=八一の菩提寺)
- ・実施日 第1回 平成20年9月20日(土) 参加数41人  
第2回 平成20年11月21日(金) 参加数72人

当館としては異色のイベント。参加者には、會津八一記念館や北方文化博物館分館に訪問したことがない人が多く、新たな客層開拓の機会となった。

#### (エ) 普及活動事業

(出前講座) = 参加者負担

7月17、24、31日 新潟大主催「新潟駅南キャンパス公開講座」

テーマ「ラストエンペラーの至宝展」の見どころ

講師：岡村新潟大准教授、喜嶋学芸員、湯浅学芸員 参加数35人

8月7日 新津第2小学校「わくわく講座」~會津八一の短歌を書いてみよう~

講師：鶴田一雄・新潟大学教授、補助・喜嶋学芸員 参加数16人

胎内市ボランティア養成講座 「會津八一について」

第1回 9月13日(土) 講義(胎内市中央公民館) 参加数13人

第2回 10月11日(土) 作品解説会(會津八一記念館) 参加数11人

講師：湯浅学芸員

新潟市坂井輪地区公民館文化祭事業「初めての會津八一」

10月23日(木) 坂井輪地区公民館 参加数25人

講師：喜嶋学芸員

市民サークル「胡桃の会」総会と講演 「會津八一を語る」

12月14日(日) 割烹 山長 参加数25人

講師：喜嶋学芸員

(巡回展) = 運送費のみ折半

第1回写真コンテスト入賞入選作品巡回展(奈良) 来場者670人

奈良大学博物館主催「上司海雲宛 會津八一書簡」展と併設展示

会期:5月10日~7月21日

会場:奈良大学博物館

第1回写真コンテスト入賞入選作品 巡回展(胎内市)来場者60人

会期:9月26日~28日

会場:胎内市産業文化会館 企画展示室

概要:胎内市會津八一記念事業実行委員会、胎内市教育委員会、当館との3者共催

第1回「會津八一の歌を映す」写真コンテスト 巡回展(奈良)来場者9180人

会期:12月9日~27日

会場:奈良県立図書情報館

(オ)学習講座(参加者負担)

會津八一の歌を読む会(砂丘館 毎月第1土曜日 受講者23人)

講師:若月忠信氏(敬和学園大学教授)

會津八一・吉野秀雄往復書簡 講読会(寄居コミュニティハウス

毎月第1、第2水曜日 受講者14人)

講師:和泉久子氏(鶴見大学名誉教授)

7月終了

會津八一と斎藤茂吉 茂吉書簡を読む 講読会(寄居コミュニティハウス

毎月第1、第2水曜日 受講者15人)

講師:和泉久子氏(鶴見大学名誉教授)

9月~平成21年3月で終了

(カ)鑑定会(経費:232,039円)

春の部 4月26日(日) 総点数18点 認定数15点 収入63万円

秋の部 11月15日(土) 総点数26点 認定数21点 収入89万円

合計152万円

(キ)旅行企画(参加者負担)

「會津八一と吉野山」の旅 4日間

= 會津八一が歩き歌った吉野山を散策と建立1周年の興福寺歌碑も見学 =

・1班 4月13日~16日 奈良大学の浅田隆教授が同行解説

・2班 4月14日~17日 万葉集研究者 藤田秀雄先生が同行解説

(ク)新収蔵品

寄贈 會津八一歌書「ゆめどのは」軸1点 會津八一書簡 渡辺正亥宛3通など 20点

寄託 會津八一歌書「かきわかば」など軸6点 額2点 色紙・短冊9点など 20点

購入 會津八一書「和致芳」額 1点

(ケ)販売活動

・「学規」割引セール 実施期間20年度(20年4、5月、21年2、3月)  
額装41点、未表装13点、色紙114点 販売合計79万8千円

(タ)広報活動

(新聞)新潟日報 = 記事 44回  
                  広告 85回(展示44回、複製販売41回)  
                  合計 129回  
          産経新聞 = 記事 1回  
          上越タイムス = 記事 1回

(テレビ) B S N 2回  
          N H K 1回  
          N S T 1回  
          U X    2回  
          T E N Y 1回

(ラジオ) N H K 「朝の随想」神林館長26回うち八一関係5回、  
          B S N 特別展期間中 連日のように放送

(市報)           14回

(中央区だより) 3回

(オ)関連の活動

新潟県立万代島美術館主催「佐藤哲三の時代」展(10月11日~  
12月14日)に収蔵品「佐藤哲三書簡 會津八一宛」3通を出品